

国籍法改正案の真実

あなたの生活が、日本が壊れていく！

フィリピン親子に
同情したら
日本人が...

国籍法改正案とは？

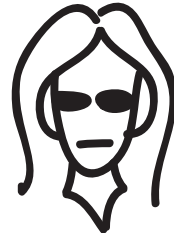
日本人男性が外国人女性との私生児を「認知」すれば、その子は日本国籍を取得可能。(結婚の必要ナシ!! 実質扶養義務ナシ!!!)
科学的な親子の真偽検証(DNA鑑定)がなく、嘘をつき放題！

親子写真提出
でも偽造は簡単

最初の3年、成人OK!
後は20歳未満の子

これから何が起ころの？

1. 日本国籍を取得した私生児とその母、家族や親戚が大量移住。
2. 外国人パブ、海外の売春街にいた母子たちが一気に申請、移住。
3. ホームレスや貧乏日本人男性が、血縁のない母子の「認知」を承諾、日本国籍の取得に手を貸す、ヤクザの偽装認知ビジネスが活発化。
4. 低モラル、低所得の外国人が増えるため、治安悪化の懸念。



ワタシは役場と法務局で
大女優にナリマス
日本に住ミタイカラ
自分達の
パラダイス作る

日本人が守ってきた、秩序と治安をどうするの？
外国人母子の生活保護が激増で大增税？

「新日本人」が大量に発生!!!

警察官、自衛隊員、国会議員にもなれ、選挙権もGET！

国籍法改正案を推進したのは誰？

発案・推進：公明党

1. 2008年6月5日、公明大口議員(衆院法務委員理事)が法務大臣へ提言書。
2008年6月4日の国籍法改正のきっかけとなった、婚姻条件を違憲とした「フィリピン母子の婚外子最高裁判決」の翌日に提出。
2. 公明党機関紙「公明新聞」に詳細な記事が多数あり、注力ぶり露呈。

協力・推進：民主党

1. 2008年12月5日、民主千葉議員(参院法務委員理事)が、参議院過半数を占める民主党議員の賛否方針を一任のもと、参院本会議で賛成可決、成立する。
2. 2008年11月18日、衆院本会議で給油法、金融機能強化法は審議拒否、国籍法改正案だけは協力して可決。

紆余曲折：自民党

1. 2008年11月4日、自民保守の法務議員が、特別委員会へ出席できぬよう仕組まれ、開催アリバイを重ねて内閣を信用させ、流れ作業で閣議決定。(31日に田母神航空幕僚長の論文が発覚し、国会内大揺れ中)
2. 2008年11月14日、自民保守議員32名が衆院法務委員長に「慎重審議」の要望書を提出。が、閣議承認のため反対できず衆院法務委員会でも可決。
3. 2008年11月18日、自民から11名の反対退席者を出しながら、党議拘束により衆議院本会議で賛成、可決。

2007年 日本総人口
1億2700万人

法務省HPより

2007年 永住外国人
韓国 50万人
中国 12万人
総数 87万人

朝鮮新報、法務省HPより

今国会、他にも危ない議案が...

衆議院で提案され審議中

- ・永住外国人参政権(公明党)
- ・国籍選択制度の廃止(民主党)
- ・成人の重国籍容認(民主党)
- ・重国籍容認(民主党)

【外国人参政権の国会提出】

自民党 0回←注目
民主党 15回
公明党 28回←注目
共産党 11回

1998年初登場～2008年11月

2007年 外国人登録者
中国 60万人
韓国・朝鮮 59万人
ブラジル 31万人
フィリピン 20万人
ペルー 5万人
総数 215万人

法務省HPより

国籍法と全部関係が深いですね!

→ ウラ面へGO!

※このチラシは特定の団体ではなく、全国の家族を持つ一般女性が立ち上がって作成したものです。